

平成23年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 0 4      2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(A)      4. 研究期間 平成23年度～平成26年度
5. 課題番号 2 3 2 4 0 0 9 8
6. 研究課題名 アジア採集狩猟民児童～大都市児童の発育発達多様性と環境の相互作用、含む標準値作製

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 1 1 4 0 4 6	オオサワ 大澤      セイジ 清二	人間生活文化研究所	所長

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

【期間全体における目的】南・東南アジア（日本を含めてタイ、ミャンマー、ネパール児童の出生時～就学時）の発達の標準値を以下のA～Dで求め、併せてE～Kでは、特徴的、典型的な生育環境下における児童の発育と発達の諸相を明らかにする。

●A. 日本人児童、B. タイ人児童、C. ミャンマー（ビルマ）人児童、D. ネパール人児童。

●E. 採集狩猟民族ムラブリ児童、F. 高度な発展を遂げたタイの大都市（チェンマイ市）と純農村僻地のタイ児童、G. 内婚等で閉鎖的な社会における低身長民族ラフ児童と近年目覚ましい大型化を遂げた民族ラオ児童、H. 山地民ながら定住して安定的な生活を確保した場合と移住を余儀なくしている難民タイヤイ児童、I. 平地から高地に至る多様な自然環境下のチェトリ、グルン、チベット、J. 厳しいカースト社会における低カーストと高カーストのビシュカルマ、ブラーマン、K. 鎖国政策下にあったミャンマーのヤンゴンとモン州農村の児童及び新首都ネピドーに移住した選良階級の児童。

6月～7月：役割分担毎に年間研究計画を作成した。  
 調査票作成と各国語への翻訳・印刷を行った（日本語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語）。  
 8月～9月：ACEKの研究班は調査測定とデータ収集、BDFGHIJは事前調査を行った。  
 タイではチェンマイ、ウボンを拠点に、ミャンマーではヤンゴン、モーラミヤイン。ネパールではカトマンズとポカラを拠点にした。収集データは現地（ミャンマー、タイ、日本）で入力した。  
 10月～11月：現地で調査を続した。第1回調査の成果を持ち寄って検討会を開催。  
 補充調査事項の確認を行った。  
 12月～1月：第2回調査を実施し、データの補充を行った。  
 2月～3月：収集したデータを全て出力し、データクリーニングを行うと共に、解析用のデータセットを構成した。  
 1年を総括する検討会を行った。

10. キーワード

- (1) 民族別身体発達      (2) 南・東南アジア      (3) 民族別発育      (4) 幼児
- (5) 生育環境      (6)      (7)      (8)